

2 場面一覧

支援が必要な場面	どのような困難があるか	どのような支援が必要か	検討(※) 段階別支援	支援例	
I 入学 入学試験	集団の中で試験が受けられない	別室の設定	●	P.180	
	答えを口に出してしまう				
	落ち着いて受験できない。もしくは、教室を頻繁に出入りする可能性がある。	座席の優先指定（出入り口の近いところに指定、トイレに近い試験室で受験など）	●		
	文字を読むのが困難である	試験時間の延長（1.3倍） 拡大文字問題冊子の配付	●		
	文字を書くのが困難である	試験時間の延長	●		
	マークシートをうまく塗りつぶせない	チェック解答	●		
	聞いて理解することに困難がある	注意事項等の文書による伝達 試験時間の延長（リスニング）	●		
	バスや電車を利用できない	試験場への乗用車での入構	●		
	2 支援受付窓口が分からない	相談窓口設置	△		
	2 入学 どのような支援を受けられるのか分からない	オリエンテーションや文書での通知	△		P.183
II 学習支援 履修登録 授業（講義・演習） 3 授業（実験・実習）	1 履修計画が立てられない	履修登録補助	△	P.185	
	授業の内容、形式、評価方法（試験かレポートか）などの情報が明らかでない場合、自分に適した授業が選択できない	詳細なシラバスを作成	△		
	希望する授業が履修制限で取れない	優先履修登録の検討	●		
	2 授業（講義・演習） 3 授業（実験・実習）	文字を読むのが困難である	読み上げソフトの紹介 資料の電子データ提供	◎ △	P.188 P.190
		文字を書くのが困難である	パソコンの持込許可 ノートテイク	△ ●	
		話を聞きながらノートを取るのが困難である	講義内容の録音許可 詳しい配付資料の準備 ノートテイク	△ ◎ ●	
		決まった席でないと座れない	座席配慮	△	
		（演習など）自分の意見が言えない（または言いすぎる）	議論のルールを決める	△	
		（演習など）質問に答えられない	具体的な質問をする	△	
		（卒論など）テーマを決められない	担当教員による綿密な面談	△	
		授業に遅刻してしまう	時間管理スキル指導	△	
		急な変更に対応できない	事前に個別伝達	◎	
		対人関係に問題が生じる	周囲の理解と本人への助言 心理カウンセリング	△ △	
		集合場所・時間を間違える	自己管理スキル指導 注意事項等文書伝達・注意喚起	△ △	
		手順を理解できない	分かりやすい手順説明資料を配付 ティーチングアシスタントをつける	△	
		注意力的問題がある	注意事項チェックリストを作成配付	△	
		細かい作業が苦手である	グループメンバーに協力を依頼する ティーチングアシスタントをつける	△	

支援が必要な場面	どのような困難があるか	どのような支援が必要か	検討 (※) 段階別支援	支援例	
Ⅱ 学習支援	4 評価	文字を読むのが困難である	試験をレポートに代替する	●	P.192
		文字を書くのが困難である	口頭試問などへの解答手段変更 パソコン筆記での解答	●	
		試験日時・会場・レポート提出日を間違える、指示を聞き違える（聞き逃す）	自己管理スキル指導 個別注意喚起・伝達	△ ◎	
		期限までにレポートを提出できない	提出期限の延長 時間管理スキル指導	● △	
		(試験で) 集中を持続するのが困難である	別室受験	●	
Ⅲ 学生生活支援	自分に必要な支援を説明できない	支援要請スキル指導	◎	P.194	
	自分の障害を理解できない	自己理解促進指導	△		
	対人関係に問題が生じる	周囲の理解と本人への助言 心理カウンセリング	△		
	集団活動（サークル、下宿など）に問題が生じる				
	連絡がとれなくなってしまう、引きこもってしまう				
	学内で食事が取れない	居場所の提供	●		
	安心してキャンパスにすることが難しい	刺激の少ない安心していられる場を作る、一緒に探す	△		
	一人暮らしが困難である(ゴミ出しや健康管理等)	社会的スキル指導	△		
カルト宗教、詐欺被害に遭いやすい					
Ⅳ 就職支援	履歴書が書けない	自動車通学許可・駐車場確保	●	P.197	
		就職ワークシヨップ等の紹介 個別に履歴書の書き方を指導する	△ ◎		
	職業の適性が分からない	職業評価・ジョブマッチング・学内資源（図書館等）やアルバイトなどを利用した就業体験	△		
	就職が決まらない	地域の障害者職業センター、障害者就業・生活支援センター、ハローワーク等外部リソースとの連携	◎		
		学内コーディネーター（心理カウンセラー）とキャリアカウンセラーの連携 障害者手帳の取得指導、障害者法定雇用枠の使用指導			
使える社会的資源を知らない	地域の障害者職業センター、障害者就業・生活支援センター、ハローワーク等外部リソース情報の提供	◎			
Ⅴ 災害時の支援	落ち着いて行動できない	安心感を与える、見通しが持てるように説明する、社会的スキル指導	△	P.200	
	所在、安否等が確認できない	体制の構築、日頃からの手順の確認	△		
	ストレスによってこだわりやパニックが強くなる	心理面接、見通しが持てるように説明する	△		
	大学からの情報を入手しにくい	個別の情報伝達が必要	◎		
	所定の避難所を利用できない	利用可能な避難所を紹介する	△		

※段階別支援検討

- ：専門医を受診し、発達障害の診断を受け、障害であることの証明（療育手帳や精神障害者福祉手帳、あるいは医師からの診断書）がある場合には、本人の必要に応じた支援を検討していただきたい事項。（◎・△も含む）
- ◎：手帳や診断書などの公的な証明がなされていない場合でも、校医や学生相談室など学内の専門家の意見で発達障害の可能性がかなり高いと思われる場合に支援が可能であると考えられる事項。（△も含む）
- △：「普段の行動から発達障害の可能性が想定され本人や保護者が支援を求める場合」や、「本人が障害を認識せず自主的な申し出がないが、周囲の人間がなんらかの困難を感じている場合」も支援が可能であると考えられる事項。

発達障害

		こま まって いない	少 しこ ま ま っ て い る	こ ま ま っ て い る	と て も こ ま ま っ て い る	対 人	自 閉 的	
1	授業や行事で「グループになってください」といわれ るとこまってしまう。							
2	雑談などのとりとめのない話をするのがてだ。							
3	初対面の人とはどうやって話したらいいかわから ない							
4	場違いなことをしてしまっ てこまる ことがある							
5	皮肉や冗談がわからない ことがある							
6	次に何を するのかという具体的な指示が事前 にないとこまってしまう							
7	気分の波が激しくてこま まっている							
8	友達が いなくてさみしい							
9	生活のリ ズムが乱されるのは苦痛だ							
10	他の人 たちからは自分は場違いなこ とばかりしていると思 う							
11	進学や クラス替えのときに新しい 友人を作るのがてだ							
12	グル ープ活動では居心地が悪 くてこまる							
13	友だ ちが少ないことが気にな っている							
14	過去の 経験が現在おこっているこ とのようによみがえ り、気持ちが不安定にな ることがある							
15	他の人 がどんなことを考えてい るのかを想像すること がてだ							
16	突然予 定が変更されると混乱し てしまう							
17	「自分 は普通の人と違う」と感 じてこま まっている							
18	進学 やクラス替えなどで周り の状況が変わるときに 恐怖を感じる							
19	孤立 していると感じる							
20	人と 話している時に、自分 がいつ話せばいいか わからずこま ってしまう							
21	うそ やつくり話を見抜く のがてだ							
22	と ても嫌いな特定の音 や匂いや肌ざわり などがあって、こ まる ことがある							
23	行 動が止まって固ま ってしまい、こ まる ことがある							
24	他の 人たちのように、う まく会話が できない							
25	暗 黙のルールがわ からなくてこ まる ことがある							
						／10	／15	／25

0, 1, 2, 3点

	あれば✓	こまっていない	少しこまっている	こまっている	とてもこまっている	集中力の持続困難	不注意	衝動性	プランニング能力困難	整理能力	睡眠リズム障害傾向	不器用	対人尺度
1 気が散りやすい													
2 睡眠のリズムが不規則													
3 よく物をなくす													
4 誤解や早とちりが多い													
5 忘れ物が多い													
6 衝動的に行動してしまう													
7 生活が不規則である													
8 授業中、集中が続かない													
9 飽きっぽい													
10 物忘れが多い													
11 片付けられない													
12 カットしやすい													
13 新しい作業を習得するのに時間がかかる													
14 課題や仕事がメ切に間に合わない													
15 提出物の締め切りや期限を忘れる													
16 学校や仕事の場面で単純なミスが多い													
17 思ったことを口に出してしまう													
18 悪気はないのに人を傷つけてしまう													
19 ものごとに柔軟に対応できない													
20 人を呼べないほど部屋が散らかっている													
21 頑張っている割に期待したような結果にならない													
22 自分はもっと出来ると思うのに、自分の能力をうまく発揮できない													
23 いつもやらなければいけないに追われて余裕が無い													
24 やらなければならぬことが複数あるときに、うまくこなせない													
25 集団行動がいがて													
26 人間関係がうまくいかない													
27 イライラしやすい													
28 特に何かあったわけではないのに、気分の浮き沈みが激しい													
						／3	／4	／4	／2	／2	／2	／7	／4

ADHD困り感尺度

下位尺度平均得点									
パーセンタイル	集中力の持続困難	不注意	衝動性	プランニング能力困難	整理能力	睡眠リズム障害傾向	不器用	24項目平均	対人尺度
50	1.00	0.50	0.25	0.50	0.50	1.00	0.71	0.67	0.50
75	1.33	1.00	0.75	1.00	1.00	1.50	1.29	1.08	1.00
90	2.00	1.50	1.25	1.50	2.00	2.50	1.86	1.50	1.75
95	2.33	2.25	1.75	2.00	2.50	3.00	2.14	1.79	2.00
99	3.00	3.00	2.50	3.00	3.00		2.86	2.38	2.75

集中力維持困難: 一つのことに集中し続けるのが難しい。なにかやっても他のことに意識が向いてしまう。
不注意: 適切に注意を向けることが難しい。その結果、忘れる、なくす、やり間違ふ事が多い。
衝動性: 悪気はないのに思ったことをそのまま口に出してしまう。カッとなることもある。
プランニング: 締め切りを覚えておくなどの自分がやるべきことを把握できていないため、締め切りが間に合わない。
整理整頓: 部屋の片付けが苦手
睡眠リズム: 規則正しい生活を送ることが難しい。
不器用: 頑張っているのに要領よくこなせない。
対人: 対人関係の苦手さを感じている。情緒的不安定さを感じている。

ASD困り感

下位尺度平均得点			
パーセンタイル	対人的	自閉的	25項目平均
50	0.36	0.50	0.44
75	0.82	0.86	0.80
90	1.29	1.25	1.22
95	1.64	1.55	1.54
99	2.36	2.18	2.02